

平成22年度

帯広畜産大学大学院畜産学研究科

修士課程・博士前期課程学生募集要項

(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)

APPLICATION FOR ADMISSION TO
THE MASTER'S PROGRAM
GRADUATE SCHOOL OF AGRICULTURE
AND VETERINARY MEDICINE
OBIHIRO UNIVERSITY
FOR 2010

(General Admission, Special Selection for Mature Applicants,
Special Selection for International Students)

修士課程 3 専攻の改組について（予告）

本学では、平成 22 年度に修士課程 3 専攻（畜産管理学専攻、畜産環境科学専攻、生物資源科学専攻）の改組を計画しております。

この計画は、文部科学省による改組計画の審査後に本学が報告書を提出することにより確定しますが、文部科学省による審査結果は、早くても 7 月以降になる予定です。

よって平成 22 年度大学院入学者選抜は、現行の専攻及び選抜方法により実施します。また、出願書類は、現行の専攻を志望するものとして受け付け、改組が確定した場合、改組後の専攻を志望したものとして取り扱いますので、特別の手続きは必要ありません。

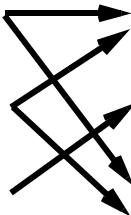
なお、改組計画が確定した場合は、本学ホームページ（<http://www.obihiro.ac.jp/>）内でその内容等について公表いたしますのでご確認ください。

改組の概要

平成 20 年度教育改革によって改編した学士課程のユニット構成・カリキュラム、教育効果アンケートの結果等を踏まえて、修士課程教育の実質化を図るため、畜産衛生学専攻のカリキュラム編成をモデルに、平成 22 年度より修士課程 3 専攻を改組します。

入学定員

現 行		改 組 後	
専 攻 名	入学定員(人)	専 攻 名	入学定員(人)
畜産管理学専攻	9	畜産生命科学専攻	18
畜産環境科学専攻	24	食品科学専攻	10
生物資源科学専攻	8	資源環境農学専攻	13
合 計	41	合 計	41



志望した現行の講座により、改組後に所属する専攻が確定しますので御留意ください。

なお、この件につきまして御不明な点等がございましたら、下記まで御連絡ください。

問合せ先

〒 080-8555 帯広市稲田町西 2 線 1 1 番地
帯広畜産大学入試課入学試験係
0 1 5 5 - 4 9 - 5 3 2 1

目 次

1 募 集 人 員	1
2 出 願 資 格	2
3 出 願 手 続	5
4 入学者選抜方法	8
5 学力検査実施科目（一般選抜のみ）	9
6 試験期日及び試験場	10
7 障害等のある志願者との事前相談	11
8 合 格 発 表	11
9 入 学 手 続	11
10 個人情報の取扱いについて	11
◎ 帯広畜産大学大学院畜産学研究科修士課程・博士前期課程案内	12

1 募集人員

修士課程

専攻名	講座名	募集人員	
		一般選抜	社会人特別選抜
畜産管理学専攻	共生家畜システム学 家畜育種増殖学 家畜生産機能学 畜産経営管理学 畜産資源経済学	9人	若干人
畜産環境科学専攻	作物科学 草地学 生態系保護学 土地資源利用学 生物生産システム工学	24人	若干人
生物資源科学専攻	応用生命科学 応用分子生物学 生物資源利用学	8人	若干人

博士前期課程

専攻名	講座名	募集人員		
		一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
畜産衛生学専攻	動物医科学 食品衛生学 環境衛生学	15人	若干人	若干人

2 出 願 資 格

(1) 一般選抜（外国人留学生含む）

次の①～⑨のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び平成22年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成22年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び平成22年3月修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成22年3月修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑧ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑨ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

注1. ⑧, ⑨で出願する者は、7頁「出願資格の認定」を参照してください。

注2. 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生が出願する場合には、出願に先立って出願資格審査を行う必要がありますので、7頁「出願資格の認定」を参照してください。

(2) 社会人特別選抜（外国人留学生含む）

次の①に該当し、かつ i ～viiiのいずれかに該当する者

- ① 平成22年3月までに、2年以上の社会経験（研究機関、教育機関、行政機関、企業等での勤務及び自営業、主婦等の経験）を有する者
 - i 平成20年3月以前に大学を卒業した者
 - ii 平成20年3月以前に学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 - iii 平成20年3月以前に外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - iv 平成20年3月以前に外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - v 平成20年3月以前に我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - vi 平成20年3月以前に専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - vii 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
 - viii 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達したもの

注1. viiiで出願する者は、7頁「出願資格の認定」を参照してください。

注2. 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生が出願する場合には、出願に先立って出願資格審査を行う必要がありますので、7頁「出願資格の認定」を参照してください。

(3) 外国人留学生特別選抜

次の①～④のすべてに該当し、かつ i ～ v のいずれかに該当する者

- ① 日本の国籍を有しない者で、原則として、外国に在住している者
- ② 食品あるいは畜産衛生に関連する外国での社会経験（研究機関，教育機関，行政機関等での勤務）を，平成22年3月までに2年以上有する者
- ③ TOEFL テスト（ペーパー版，又はインターネット版）を出願時において2年以内に受けている者（TOEFL-ITP（団体向け TOEFL テストプログラム）は認められません。）
- ④ 入学時の年齢が原則として40歳未満の者
 - i 平成20年3月以前に大学を卒業した者
 - ii 平成20年3月以前に外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 - iii 平成20年3月以前に外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより，当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - iv 平成20年3月以前に我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - v 本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達したもの

注1. vで出願する者は，下記(4)「出願資格の認定」を参照してください。

注2. 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生が出願する場合には，出願に先立って出願資格審査を行いますので，下記(4)「出願資格の認定」を参照してください。

奨学金（外国人留学生特別選抜のみ）

入学者には，月額8万円の奨学金を支給します。ただし，外国政府あるいは政府関係団体又は他の奨学金等の受給者は，対象としません。支給は，2年間を限度とし，1年後の成績等の総合評価によっては支給を停止する場合があります。

入学金・授業料免除について（外国人留学生特別選抜のみ）

入学者は，入学金及び各学期の授業料を免除します。ただし，政府等が入学金・授業料相当額を負担する場合は，免除の対象としません。授業料免除は，2年間を限度とし，1年後の成績等の総合評価によっては免除を取り消す場合があります。

(4) 出願資格の認定

下記の書類を整え，平成21年7月3日（金）までに提出してください。

なお，郵送の場合は必ず速達書留としてください。

提出書類	・入学資格認定申請書（本学が定める様式） ・最終学歴の卒業（修了）証明書 ・成績証明書（履修状況を証明する書類） ・研究歴証明書（研究期間，研究内容は必ず記載） ・研究成果資料
提出先	帯広畜産大学 教育研究協力部入試課入学試験係 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

3 出 願 手 続

(1) 出願書類等

① 出願書類 (一般選抜・社会人特別選抜)

出 願 書 類 等		一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜	摘 要
1	入 学 願 書 受 験 票 写 真 票	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・*印欄以外の所定の欄はすべて記入してください。 ・写真(縦4cm横3cm)は、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、裏面に志望専攻名・氏名を記入の上、写真票の所定の欄にはってください(受験時に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡を着用して撮影したものにしてください)。
2	志 願 理 由 書	○	/	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院を志願する理由を本学所定の様式1枚に記入してください。
3	卒業証明書又は 卒業見込証明書	○	○	
4	成 績 証 明 書	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・厳封したものを提出してください。
5	外国人登録原票 記載事項証明書	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人登録を済ませている者については、在留資格、在留期間が記載されているものを提出してください。
6	あ て 名 票 (合格通知書送付用)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記したものを提出してください。
7	受 験 科 目 確 認 シ ー ル	○	/	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙に記入してください。
8	受験票送付用封筒	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の封筒(小)に郵便番号・住所・氏名を明記し350円分の切手をはったものを提出してください(入学試験係に受験票を直接取りに来る場合は切手をはる必要はありません)。
9	推 薦 書	/	○	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務先所属長の推薦書又は従事していた勤務先所属長の推薦書若しくは自己推薦書を提出してください。
10	研 究 計 画 書 (畜産管理学専攻 畜産環境科学専攻 生物資源科学専攻)	/	○	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院において行おうとする研究内容(1,000字程度)
11	業 績 報 告 書	/	○	<ul style="list-style-type: none"> ・研究論文、技術報告書、特許、実用新案、卒業研究報告書等、本人の業績又は業務内容を示すもの。

注1：日本国籍を有しない者の出願書類については、別に指示しますので出願の前に、あらかじめ入学試験係まで申し出てください。

注2：国費外国人留学生は、2～4については提出を要しません。

② 出願書類（外国人留学生特別選抜）

出願書類等		摘 要
1	入学願書 受験票 写真票	<ul style="list-style-type: none"> ・*印欄以外の所定の欄はすべて記入してください。 ・写真（縦4cm横3cm）は、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、裏面に志望専攻名・氏名を記入の上、写真票の所定の欄にはってください。
2	志願理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院を志願する理由，研究計画及び将来どのように大学院で学んだことを生かしたいか，経歴を含めてA4版用紙3枚（任意様式）にまとめること。
3	卒業証明書	
4	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・厳封したものを提出してください。
5	あて名票 （合格通知書送付用）	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記したものを提出してください。
6	受験票送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の封筒（小）に郵便番号・住所・氏名を明記したものを提出してください。
7	推薦書	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦書 各1部（任意様式） ① 出身大学の長等（人物，成績，課外活動，英語力，その他） ② 行政機関等勤務先の長等（人物，業績，勤務状況，英語力，その他） ③ 上記以外の者（人物，成績又は業績，英語力，その他）
8	業績報告書	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文がある場合はその概要，現在の業務内容の説明，その他特筆できる事項についてA4版用紙2枚（任意様式）にまとめること。
9	小論文	<ul style="list-style-type: none"> ・大学から送付するテーマに関する小論文をA4版用紙2枚（任意様式）に記入してください。
10	TOEFLの 成績通知書	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL（ペーパー版，又はインターネット版）スコア票（Examinee's Score Record）原本を提出してください。 原本は，本学入試課でコピー後，返却します。 なお，TOEFLスコアは，TOEFLテストを書類提出日からさかのぼって2年間までのものを有効とします。 また，TOEFL-ITP（団体向けTOEFLテストプログラム）は，認めません。

注1：2，7，8及び9については，英文でタイピングしたものを提出してください。

注2：出願に際しては，希望する教育研究分野の教員にあらかじめ連絡を取ること。

③ 検 定 料

30,000円

1) 一般選抜・社会人特別選抜【国内出願】（日本国内で送金する場合）

本学所定の払込取扱票により、検定料30,000円を払込期間内に最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。

国費外国人留学生は、検定料を必要としませんが、在学する大学発行の「国費外国人留学生証明書」（写しでも良い）を提出してください。

払い込み後、「振替払込受付証明書（お客様用）」（日附印が押印されたもの）を出願書類の所定の場所にはって提出してください。

なお、郵便局・ゆうちょ銀行の窓口取扱いは通常平日は16時まで、土・日曜日及び祝日は休業ですのでご注意ください。

検定料払込期間 : 平成21年7月7日（火）から平成21年7月24日（金）

2) 外国人留学生特別選抜（外国在住者）【国外出願】（日本国外から送金する場合）

金融機関で検定料：額面30,000円（日本円）を次の要領に従って海外の金融機関より送金してください。その際、必ず外国送金依頼書のコピーを願書と共に提出してください。

- ・ 電信送金
- ・ 振込方法 : 通知払
- ・ 支払銀行手数料 : 依頼人負担
- ・ 送金金額 : 30,000円
- ・ 次の銀行口座に送金してください。

受取銀行：信用中央金庫（金融機関コード：ZENBJPJT）

受取銀行住所：東京都新宿区市谷本村町9-1

取引口座：帯広信用金庫稲田支店（0340900）

受取人名：帯広畜産大学

受取人住所：080-8555 北海道帯広市稲田町西2-11

検定料払込期間 : 平成21年7月7日（火）から平成21年7月24日（金）

※支払銀行手数料を含む全ての手数料は依頼人が負担してください。

④ 出願の留意事項

1) 受理した検定料は、次の場合を除き返還することができません。

検定料を払い込んだが帯広畜産大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合又は検定料を誤って二重に払い込んだ場合には、払い込んだ者の申し出により、当該検定料相当額を返還します。

返還の申し出は、速やかに行ってください。

※ 返還に関する問い合わせ先 帯広畜産大学 入試課入学試験係 TEL 0155-49-5321

2) 検定料が払い込まれていない場合や「振替払込受付証明書」に郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が押印されていない場合は出願を受理できません。

(2) 出願期間

一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜

平成21年7月17日(金)から平成21年7月24日(金)まで（郵送の場合も**7月24日(金)必着**とします。）

(3) 出願方法

出願書類は、一括して本学所定の封筒（大）若しくは角型2号の封筒に入れ、持参又は郵送してください。

① 持参の場合

受付時間は、8時30分から17時00分までとします。ただし、土・日曜日及び祝日を除きます。

② 郵送の場合

1) 一般選抜・社会人特別選抜

必ず「速達書留」扱いにし、**平成21年7月24日(金)17時00分必着**とします。

なお、出願期限後に到着した出願書類等は受理しないので、郵便事情等を考慮して余裕を持って発送してください。

2) 外国人留学生特別選抜（外国在住者）

必ず「EMS」若しくは「書留」のエアメール便扱いにし、**平成21年7月24日(金)17時00分必着**とします。

なお、出願期限後に到着した出願書類等は受理しないので、郵便事情等を考慮して余裕を持って発送してください。

(4) 出願書類等の提出先

37ページに記載してあります。

なお、出願書類等は、返還することができません。

4 入学者選抜方法

(1) 一般選抜

学力検査、面接、志願理由書及び成績証明書の内容を総合して行います。

(2) 社会人特別選抜

面接、推薦書、成績証明書、研究計画書（畜産管理学専攻・畜産環境科学専攻・生物資源科学専攻）、及び業績報告書の内容を総合して行います。

(3) 外国人留学生特別選抜

志願理由書、成績証明書、推薦書、業績報告書、小論文及び TOEFL の成績通知書の内容を総合して行います。

（書類審査のみ）

5 学力検査実施科目（一般選抜のみ）

(1) 畜産管理学専攻

講座名	教育研究分野名	試験科目		適用
		専門科目	外国語科目	
共生家畜システム学	共生家畜管理学	家畜管理学 (泌乳生理学を含む。)	英語 ※ 外国人留学生は日本語口頭試問を行う。	専門科目は、志望研究分野の科目を含め2科目を選択すること。
	共生経済システム学	非営利組織学 (畜産組織支援学を含む。)		
家畜育種増殖学	家畜育種学	家畜育種学		
	家畜増殖学	家畜繁殖学		
家畜生産機能学	家畜栄養学	家畜栄養学		
	肉畜肥育学	家畜肥育学 (家畜機能学を含む。) (家畜生産獣医学を含む。)		
畜産経営管理学	畜産経営学	農業経営学		
	畜産統計学	統計学		
畜産資源経済学	畜産政策学	農業政策学		

(2) 畜産環境科学専攻

講座名	教育研究分野名	試験科目		適用
		専門科目	外国語科目	
作物科学	植物機能開発学	植物育種学	英語 ※ 外国人留学生は日本語口頭試問を行う。	専門科目は、志望研究分野の科目を含め2科目を選択すること。
	植物生産学	作物学		
草地学	草地生態学	草地生態学 (緑地学を含む。)		
	草地利用学	草地利用学		
生態系保護学	環境昆虫学	環境昆虫学		
	環境植物学	環境植物学		
	野生動物管理学	野生動物管理学		
土地資源利用学	環境土壌学	土壌学		
		作物栄養学		
	農業土木学	農地工学		
		農業水利学		
地球物理学	地球科学			
生物生産システム工学	農作業機械学	農作業機械学		
	農業動力学	農業動力学		

(3) 生物資源科学専攻

講座名	教育研究分野名	試験科目		適用
		専門科目	外国語科目	
応用生命科学	食品・生物機能化学	食品機能化学	英語 ※ 外国人留学生は日本語口頭試問を行う。	専門科目は、志望研究分野の科目を含め2科目を選択すること。
		食品栄養学		
	環境生化学	酵素化学		
		環境生命化学		
応用分子生物学	分子細胞生物学	応用微生物学		
	生物有機化学	生物有機化学		
生物資源利用学	食肉科学	食肉保蔵学		
	乳科学	酪農食品科学		
	食品工学	食品工学		
		品質管理学		

(4) 畜産衛生学専攻

講座名	教育研究分野名	試験科目	
動物医科学	家畜生産衛生学	英語	小論文
	人畜共通原虫病学		
食品衛生学	食肉乳衛生学		
	衛生経済学		
	病原微生物学		
環境衛生学	衛生動物学		
	循環型畜産科学		

6 試験期日及び試験場

(1) 一般選抜

実施期日	科目等	時間	試験場
平成21年8月27日(木)	外国語科目・英語	9:30~11:30	帯広畜産大学
	専門科目・小論文	13:00~15:00	
平成21年8月28日(金)	面接	9:00~	帯広畜産大学

(2) 社会人特別選抜

実施期日	科目等	時間	試験場
平成21年8月28日(金)	面接	9:00~	帯広畜産大学

(3) 外国人留学生特別選抜

書類審査日・・・平成21年8月28日(金)

※ 平成21年8月26日(水) 10時までに試験場案内図を受験者入口(総合研究棟I号館玄関)に掲示しますが、試験室内に入ることはできません。

7 障害等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害等のある者については、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に本学と相談を行ってください（日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください。）。

(1) 相談の期限

平成21年7月3日(金)

(2) 問い合わせ先

37ページに記載してあります。

8 合格発表

(1) **平成21年9月4日(金)10時** (予定)

本学総合研究棟 I 号館玄関及びホームページに合格者の受験番号を発表します。(ホームページアドレスは37ページ参照)

(2) 合格者には、合格通知書及び入学手続きに必要な書類を送付します。

(3) 電話等による合否に関する問い合わせには、応じられません。

9 入学手続

(1) 入学手続期間

① 一般選抜・社会人特別選抜

平成22年2月8日(月)から平成22年2月12日(金)まで

② 外国人留学生特別選抜

平成22年3月8日(月)から平成22年3月26日(金)まで

(2) 入 学 料 282,000円

(3) 授 業 料 前期分 267,900円 (年額 535,800円)

注 上記の納付金は現行額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。

(4) その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等 (正課・課外活動中における不慮の災害事故による学生の傷害に対する救済措置) 2,780円

10 個人情報の取扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

(2) 出願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

(3) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は、入学者選抜及び入学者選抜方法等における調査・研究を行うために利用します。

(4) 上記(2)及び(3)の個人情報のうち、合格者のみ、入学後の教務関係(修学指導等)、学生支援関係(奨学金申請・授業料免除申請等)に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

帯広畜産大学大学院畜産学研究科修士課程・博士前期課程案内

アドミッションポリシー（入学者受入方針）

本研究科は、人間と自然が共生する社会において「食の安全確保」に基本をおいた農畜産物生産から食品衛生及び環境保全に至る一連の教育研究を実践し、国際的に活躍できる研究者、大学教員、高度専門職業人の養成を目指しています。このような理念・目標のもとに、次のような人材を国内外に求めています。

1. 「食の安全確保」に関する諸問題に深い関心を持っている人
2. 国際感覚を身につけ、国際交流の舞台で活躍したいと思っている人
3. 多様な実務経験を有する社会人で、ブラッシュアップを期待する人
4. 職業現場で直面する諸問題について理解を深め、問題解決能力を高めたいと思っている人

1 目的

本学大学院は、学術の理論及び応用を教授・研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的とする。

2 沿革

昭和42年6月1日 大学院畜産学研究科修士課程（獣医学専攻、酪農学専攻、農産化学専攻）を設置

昭和44年4月1日 草地学専攻、農業工学専攻を設置

昭和51年4月1日 畜産経営学専攻を設置

昭和53年4月1日 畜産環境学専攻を設置

昭和57年4月1日 酪農学専攻を家畜生産科学専攻に改称

平成2年4月1日 大学院畜産学研究科修士課程獣医学専攻を廃止

岐阜大学に、岐阜大学を設置大学として本学、岩手大学及び東京農工大学を構成大学とする「岐阜大学大学院連合獣医学研究科（博士課程）」を設置

平成6年4月1日 畜産学研究科修士課程の家畜生産科学専攻、農産化学専攻、草地学専攻、農業工学専攻、畜産経営学専攻及び畜産環境学専攻を畜産管理学専攻、畜産環境科学専攻及び生物資源化学専攻に改称

岩手大学を設置大学とする「岩手大学大学院連合農学研究科（博士課程）」に構成大学として参加（構成大学：岩手大学、弘前大学、山形大学、帯広畜産大学）

平成13年4月1日 生物資源化学専攻を生物資源科学専攻に改称

平成16年4月1日 畜産衛生学専攻（独立専攻）を設置

3 専攻の内容

◎畜産管理学専攻

動物生産を直接的に支える生物機能を遺伝情報の統計的解析や生殖工学，栄養・生産生理及び行動理論などの分野から科学的解明を図る生産学分野と，世界と日本の社会経済関係を正しく認識して，持続可能な畜産・農業システム発展の解明・創造を目指す経営・経済学分野と2つの研究・教育分野から構成されており，相互に密接な学際的連携を保ちながら，高度な専門的知識と技術を修得した技術者・研究者養成を目的としている。

本専攻は次の5つの修士講座からなっている。

共生家畜システム学講座

この講座は，持続可能な畜産の生産技術・社会経済システムの解明にかかわって，2つの異なる教育研究分野から成り立っている。1つの共生家畜管理学分野は，家畜の環境，家畜の行動，泌乳生理，家畜管理システムなど家畜・自然環境・人との共生に基盤をおいた家畜管理に関する高度な教育・研究を行う。もう1つの共生経済システム学分野では，農業・農村における物質循環を考慮した経済システム，各種のバイオマス利用産業及び食品安全のリスクコミュニケーションに関する高度な教育・研究を行う。

家畜育種増殖学講座

研究分野としては，家畜育種学と家畜増殖学の2つがあり，研究課題は以下のようなものがある。

- 乳牛に関する育種システム並びに家畜の量的形質の遺伝的パラメータの推定に関する教育と研究を行う。
- 哺乳動物卵子の凍結保存，体外成熟，体外受精（顕微授精），体外培養による胚発生に関する理論と応用について教育・研究を行う。また，凍結精液の新たな希釈液の開発と人工授精による受胎率向上に関する実践的研究教育も行う。

家畜生産機能学講座

家畜生産の基礎となる動物体の生理・栄養・行動とそれらの変動に関与する飼育環境的要因の解析を中心に，家畜の生産方式を効率的に管理・制御するための理論と応用について教育研究する。

本講座の主要研究課題は，家畜の生体情報とその利用，家畜生産と内分泌の関係，貯蔵粗飼料の養分価変動，反芻胃内における飼料成分の代謝とその制御，穀物飼料節約型の牛肉生産技術の研究などである。

畜産経営管理学講座

農業・畜産の経営管理，計量分析，診断分析，経営計画，情報処理などの基礎である畜産経営学，計量経済学，経営計画論，数理モデル，多変量解析，欧米ビジネスの理論と応用に関する高度な教育と研究を行う。

本講座の主な研究課題は，農業・畜産における意思決定や計画モデルの理論と応用，経営情報の収集・処理・評価に関する基礎理論と応用，欧米諸国のビジネス社会に関する研究などである。

畜産資源経済学講座

農業経済学を基礎として，畜産資源経済学，農業政策学，農業貿易論，国際農業開発論，食品経済論における理論と応用について，高度な教育と研究を行う。

本講座の主な研究課題は，農畜産物の生産・流通，資源・消費者・アグリビジネスに関する食料政策などである。

◎畜産環境科学専攻

農学・畜産学と環境科学の基礎をなす専門分野であり，主に次の3領域について自然科学的，農学的手法を基礎とした教育研究を行い，畜産環境に関する高度な専門家及び研究者の養成を目的としている。

- 1) 草類・飼料作物及び畑作物の改良と畑・草地利用の高度化に関する理論と応用技術並びに自然生態系と農生態系の保護
- 2) 土地利用型畜産の基礎である耕地土壌と水利用を含めた農地環境の保全・維持・改良
- 3) 農畜産機械並びに畜産施設の開発・利用に関する理論と応用技術

本専攻は，次の5つの修士講座からなっている。

作物科学講座

畑作物と牧草の改良と生産の基礎となる植物遺伝学，植物育種学，植物工学，資源植物学，飼料作物学及び植物生産学の理論と応用に関する高度な教育と研究を行う。

本講座の主な研究課題は，作物の耐冬性に関する遺伝育種，遺伝子工学及び細胞工学による作物の耐病性並びにストレス耐性の解析，染色体工学によるコムギ種子胚乳デンプンの解析，分子マーカーによるQTL解析及びコムギの穂発芽に関する研究などである。

草地学講座

草地生態学を基礎とし，草地生産学，草地利用学，飼料資源科学，植物遺伝資源学に関する理論と応用について高度な教育と研究を行う。

本講座の主な研究課題は，草地の生産と維持管理，草地の利用法，未利用資源の飼料としての利用，飼料資源の保全と合理的な利用方法，草地雑草の生態と防除に関するものである。

生態系保護学講座

自然及び農業生態系にかかわる植物生理学，植物生態学，動物生態学，野生動物管理学，畜産害虫学，昆虫生理学について理論と応用を教育・研究する。

本講座の主な研究課題は，牧草の再生機構，鳥類・哺乳類・昆虫の分類・生理・生態，環境指標としての昆虫や鳥獣の利用，草地・畜産における残存林の生態など，生態系の相互作用と保全に関するものである。

土地資源利用学講座

土地利用型農業の基礎である地盤情報学・気象情報学・土地利用学・土壌化学・土壌生成分類学・農地工学・農業水利学・農業造講学の理論とその応用に関する高度な教育と研究を行う。

本講座の主な研究課題は，土地資源の構成要素である土壌の成因・特性及び機能に関連した基礎知識をもとに，資源環境と土壌鉱物，有機・無機成分とのかかわりを究明する。さらに，土地基盤としての地盤情報，表層地質及び農林業における土地の高度利用と評価法を研究する。また，土木的手法を用いた理論技術をもとに，農業の生産基盤と生活環境を向上させる総合的な判断力を養成する。特に気象情報，灌漑，排水，土壌侵食，土壌凍結，凍上などに関する土地改良的諸問題を研究する。

生物生産システム工学講座

基礎機械工学，農業機械学及び畜産機械学を基礎とし，農業トラクタ工学，農作業機械学，畜産施設学及び農産加工機械学の理論とその応用に関する高度な教育と研究を行う。

本講座の主な研究課題は，農用車両タイヤと土壌間の相互作用に関する土壌力学的研究，栽培・収穫の技術や家畜管理技術への工学技術の導入による農畜産技術の高度化及び農産物・同副産物の利用とその品質向上に関する工学的研究並びに農畜産廃棄物の有効利用技術の研究などである。

◎生物資源科学専攻

生物生産物などの生物資源について，それらの生体における機能の解明，牛乳及び乳製品・食肉及び食肉製品・農産物へのバイオプロセスの応用及び食品関連のバイオインダストリーに関する高度な技術などの修得に幅広く対応できる人材を育成し，広く社会に貢献することを主眼としている。そのため，例えば組織培養，バイオリアクター，醗酵工学，醸造工学，食品工学などを主要な対象分野とし，さらにそれらの背景となる学問分野，すなわち生化学，有機化学，物理化学など基礎知識を基にして修得できるようカリキュラムの構成を図っている。

本専攻は，次の3つの修士講座からなっている。

応用生命科学講座

生物化学，生物工学を基礎として，生物資源が示す生命現象のメカニズムの解明，有用遺伝資源の検索・保存とその高度利用及び糖鎖・脂質工学を応用したライフサイエンスについての教育・研究を行う。

本講座の主な研究課題は，生体における天然生理活性物質及び栄養化学成分の機能解析，未利用生物資源の高度利用に関する研究，植物の低温適応能と膜脂質との関連性の解明並びに低温抵抗性植物の分子育種への応用，食品の機能性，特に抗酸化能，ラジカル消去能，抗血小板作用の解析と応用，動物・植物・微生物のスフィンゴ脂質が担う生物機能の解析などである。

応用分子生物学講座

分子生物学の基礎的な理論を深く理解しつつ，遺伝子工学を中核としたバイオテクノロジーを実学的に利用すること，すなわち食糧あるいは有用資源の有効利用に発展させるような微生物や農作物の育種や医療技術を確立することを主眼に教育・研究を行う。

本講座の主な研究課題は，生理活性物質の構造－活性相関探索法に関する生物有機化学的研究，好冷菌の生化学的・分子生物学的研究，高等植物の体細胞胚形成系を用いた分化の分子生物学及び形態学的研究，窒素固定菌を用いた微生物－植物相互作用機構及びその有効利用に関する分子生物学的研究などである。

生物資源利用学

牛乳及び乳製品，食肉製品や農産物を合理的に加工・保蔵するための基礎となる畜産食品保蔵学，酪農食品科学，食品工学，畜産食品生化学，品質管理及び食品機能化学などの理論と応用に関する高度な教育と研究を行う。

本講座の主な研究課題は，食肉の熟成中における理化学的性状，筋肉タンパク質の死後の変化，乳業用乳酸菌の産生する生理活性物質，乳中の糖質の化学構造・生物機能並びに生合成，原料牛乳の理化学的及び微生物学的品質と加工特性，澱粉の物理化学特性及び馬鈴薯の低温増糖機構に関する研究などである。

◎畜産衛生学専攻

現在、我が国では、国際的な自由貿易の進展から、動物由来食品（動物及び乳・肉等）の安全性確保が緊急課題となっている。畜産衛生学専攻は、本学における「21世紀COEプログラム」を中心とした「畜産衛生学分野」における世界最高水準の研究組織を基盤として、「動物由来食品の安全確保」のための国際的高度専門職業人養成に特化した実践的教育研究を行う。本独立専攻では、畜産由来食品の安全性評価と生産から加工・流通に至る衛生管理について多角的な視点で捉えることを目標としており、このため、農畜産学分野の学部卒業生等に対しては、従来、獣医学分野で担っていた公衆衛生分野の観点から知識を補完し、また、獣医学分野の学部卒業生等に対しては、食品や農畜産物の生産や「食」を取り巻く最新の情報等を提供することにより、「食の安全確保」を担う専門家として問題解決型の卓越した研究能力と幅広い見識を備えた人材養成を行う。

動物医科学講座

畜産生産現場における健康で丈夫な家畜を飼養・繁殖管理して生産疾病の発生を抑え、結果として経済効率を改善し、合わせて健康な家畜の潜在能力を生理的な範囲内で最大限に引き出すための技術開発や理論に関する教育を行います。さらに、動物の感染症の原因となる寄生虫、原虫などの寄生体と宿主の相互作用を、双方の個体群から分子に至る様々なレベルで解明し、これに基づいた人畜共通原虫病の防御を目的とした治療・診断法、動物の健康及び疾病予防問題と栄養素の分子機能との関係について、動物医科学に関する総合的な教育を行います。

ア) 家畜生産衛生学分野

効率優先目的の繁殖技術や飼養技術開発を、健康で元気な家畜で生理的バランスを保って進めていけるように、家畜の生産獣医療と生理学的視点をもって、特に乳肉牛の飼養繁殖管理に関する基礎的な理論と実験実習を中心とした実践的考察を行い、畜産生産現場における衛生に主眼を置いた教育・研究を行います。

イ) 人畜共通原虫学分野

畜産食品の生産性向上を目的とした原虫病及び寄生虫性疾患に焦点を当て、寄生体と宿主の相互作用を双方の個体群から分子に至る様々なレベルで解明し、これに基づいた治療・診断法の開発に関する教育・研究を行います。

食品衛生学講座

安全で優れた畜産食品の安定的な供給と効率化を図るため、農場から食卓までの過程における危害因子について総合的な教育を行います。具体的には、細菌およびウイルスを中心とした病原微生物の治療・予防法，農場・食品加工上の衛生管理システムの経営的評価とマネジメント，国際貿易における動植物検疫制度の経済評価と制度設計，食品の機能性の追求や病原微生物の発症機構の解明による畜産食品のリスク評価手法，食品に関連する健康障害因子の分析などの食品衛生に関する総合的な教育・研究を行います。

ア) 食肉乳衛生学分野

生物科学の最先端の知見と手法を駆使して、人類の穏やかな生活に寄与する安全で優れた畜産食品を安定的に供給し、さらに効率的活用を図るために、原材料から加工、製品の摂取に至るまでの全ての工程で危害を及ぼす可能性のある微生物、人工化合物等の分析、制御、管理方法及び生体応答の実際を総合的に教育・研究します。

イ) 衛生経済学分野

食品の安全性の確保及び食料生産向上のための、食品衛生の経済理論とその制度設計理論，農場・食品加工上の衛生管理システムの経営的評価とマネジメント，国際貿易体制下における動植物検疫制度の経済評価と制度設計，及び食品の統計的リスク分析手法に関する教育・研究を行います。

ウ) 病原微生物学分野

家畜衛生の向上と食の安全性の確保を目的とし、家畜関連の細菌性・ウイルス性感染症からヒトの健康被害の原因となる食品媒介感染症や人畜共通感染症の診断・治療・予防法の開発及びそれら感染症の発症機構の細胞レベルでの解明に関する教育・研究を行います。さらに微生物学的なリスク分析の科学的手法についても教育・研究します。

環境衛生学講座

水系汚染，地球温暖化ガスの放散などエネルギー多投入型家畜生産システムを改善し，安全な食品を確保するために，効率的な循環型農畜生産システムの構築やダニなどの衛生動物による感染症防除の確立など，国際的な感染症疫学調査からバイオマスの利活用までの環境衛生に関する総合的な教育を行います。

ア) 衛生動物学分野

国際社会で大きな社会問題となっている，動物に外部寄生をしたり，病原体を媒介する昆虫，ダニ，ネズミなどの衛生動物による新興・再興感染症の防除に関し，衛生動物のゲノムレベルでの教育・研究を行います。

イ) 循環型畜産科学分野

環境に大きな負荷を与える結果となっているエネルギー多投入型家畜生産システムの改善について，エネルギー循環（炭素）と物質循環（窒素）を基盤とする農畜生産システムにおける循環系の確立に関する教育・研究を行います。

4 課程の修了及び学位の授与

本学大学院畜産学研究科修士課程及び博士前期課程に2年以上在学して所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文（畜産衛生学専攻は、特定の課題についての研究の成果を含む）の審査及び最終試験に合格した者を課程の修了者とし、畜産管理学専攻・畜産環境科学専攻・生物資源科学専攻は修士（農学）、畜産衛生学専攻は修士（畜産衛生学）の学位を授与する。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、研究科に1年以上在学すれば足りるものとする。

5 教育職員免許状について

一種免許状を取得し、又はその資格を有している者が、本学大学院の課程において修士の学位を有するか、又は1年以上在学し、所定の単位を修得したときは、「農業」又は「理科」の教科について教育職員免許状（専修免許状）を取得することができる。

なお、「畜産衛生学専攻」は教育職員免許状（専修免許状）は取得できません。

専攻別取得教育職員免許状の種類及び教科

専攻	免許状の種類	免許教科
畜産管理学専攻	高等学校教諭専修免許状	農業
畜産環境科学専攻	高等学校教諭専修免許状	農業又は理科
生物資源科学専攻	高等学校教諭専修免許状	理科

6 社会人の受入れについて

本学大学院畜産学研究科では、大学等を卒業し企業や官公庁、教育現場などで活躍しながら、さらに高度な学識や技術を習得するために大学院へ進学しようとする社会人を受け入れるために、社会人特別選抜の制度を設けています。社会人特別選抜では、一般選抜の学力検査に代えて、面接と書類審査によって社会人としての実績や資質、研究への意欲に重点を置いた選抜を行います。

なお、出願に際しては入学後の研究内容や履修方法などについて、入学を希望する専攻の専攻長とあらかじめ協議してください。

7 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有するなどの事情により、標準年限を越えた一定の期間（4年以内）で計画的に教育課程を履修し課程を修了したい方に、標準修業年限の学費で、その長期の計画的な履修を認めるものです。

長期履修を希望する方は、あらかじめ指導担当予定教員と相談の上、原則として入学手続き時に申請書を提出してください。

◎ 出願書類の提出・問い合わせ先等

1 問い合わせ方法

電話又は郵便を利用してください。郵便による場合は、郵便番号・住所・氏名を明記し、所要額分の切手をはった返信用封筒を同封してください。

2 提出・問い合わせ先

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学教育研究協力部入試課入学試験係

☎ 0155-49-5321（入学試験係直通）（月～金 8:30～17:15）

帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各専攻の紹介、大学の概要等が載っています。

アドレスは、次のとおりです。 < <http://www.obihiro.ac.jp> >